

# SaaS



弊社CTOと代表

## 新規事業向けSaaSサービス開発 × Microsoft Azure

自社が保有するデータをSaaSサービスとして提供することを、新規事業として検討する企業が増えています。SaaSによる情報提供の事業化には、保有データの有効活用、新規収入源の確保だけでなく、顧客獲得、競合他社との差別化、ビジネスモデルの多様化など様々なメリットがあります。

2023.2



# SaaSサービス事業を始めるメリット

企業が保有する情報をSaaSサービスとして提供する新規事業には、以下の10のメリットがあります。

## 1. 新たな収益源の確立

---

自社の保有情報をSaaSサービスとして提供することで、多くのユーザーが利用する、新しい収益源を確立することができます。

## 2. 情報の有効活用

---

自社で収集し、保有しているものの、これまであまり活用されていなかった情報を有効活用することができます。

## 3. 新規顧客の開拓・獲得

---

SaaSサービスを提供することで新たな顧客層にアクセスし、新規を獲得して、顧客基盤を拡大することができます。

## 4. 顧客との信頼関係構築

---

自社の保有する情報を提供することで、それらを必要とする顧客との信頼関係を構築することができます。

## 5. 顧客ニーズの把握

---

自社の保有する情報を提供することで、顧客ニーズに合わせたサービスの提供や改善などをすることができます。

## 6. ブランドの構築／価値向上

---

保有情報提供により、認知度を向上させて独自ブランドを構築、またはその価値を高め、顧客の信頼を向上させることができます。

## 7. 競合他社との差別化

---

自社が保有する価値ある情報を広く提供することで、競合他社との差別化を図り、圧倒的な競争優位を確保することができます。

## 8. データ収集

---

SaaSサービスを提供することで、さらに多くのデータを収集し、SaaSサービスの精度を上げることができます。

## 9. 安定的な売上げ・長期的な収益性の向上

---

SaaSサービスを提供することで、より安定的な売上げが見込まれ、長期的な収益性の向上が期待できます。

## 10. ビジネスモデルの多様化

---

自社の保有する情報を提供することを通じて、ビジネスモデルの多様化ができ、さらなる新規事業の開拓が可能になります。

# SaaSサービス開発手順

SaaSサービスの開発は、一般的には以下の手順で行います。SaaSサービスを成功に導くために、弊社では★のサービスを提供します。

## 1. アイデア出し

---

提供するSaaSサービスのアイデアを出し、それらを検討して、顧客ニーズに応えることができるものを選択します。

## 2. マーケットリサーチ

---

顧客ニーズや競合他社のSaaSサービスを調査し、アイデア段階のソリューションの既存のものとの違いや市場における需要を確認します。

## 3. プロトタイピング★

---

アイデアを元にサービスの仕様書を作り、実際にプロトタイプ（原型）を作成して、顧客によるテストや検討を繰り返し行っていきます。

## 4. 開発・テスト★

---

開発に必要な技術スタックを選択し、プロトタイプをベースに実際にSaaSサービスを開発。問題点や改善点をテストで検証し、修正していきます。

## 5. リリース★

---

テストを通過し、完成したSaaSサービス（アプリケーション）をリリースして、ユーザーとのやりとりを開始します。

## 6. マーケティング

---

SaaSサービスを広報・宣伝などすることで、より多くのユーザーに知ってもらい、継続的に使ってもらって収益を生み出します。

## 7. サポート・メンテナンス★

---

ユーザーからのフィードバックを元にトラブルシューティングなどを行い、サービスの質を維持・向上させていきます。

# SaaSサービス開発前の準備 ~事前に定めること~

SaaSサービスを自社で立ち上げるにあたって、事前に定めておく必要のあることは以下の5項目です。

## 1. マーケットニーズ

市場に対する需要やトレンドを明確にし、顧客のニーズに応えることができるサービスを提供することが大切です。

## 2. 予算とリソース

SaaSサービスの開発・運用に必要な予算と人員などのリソースを見積もり、事前に確保しておく必要があります。

## 3. 競合他社の調査

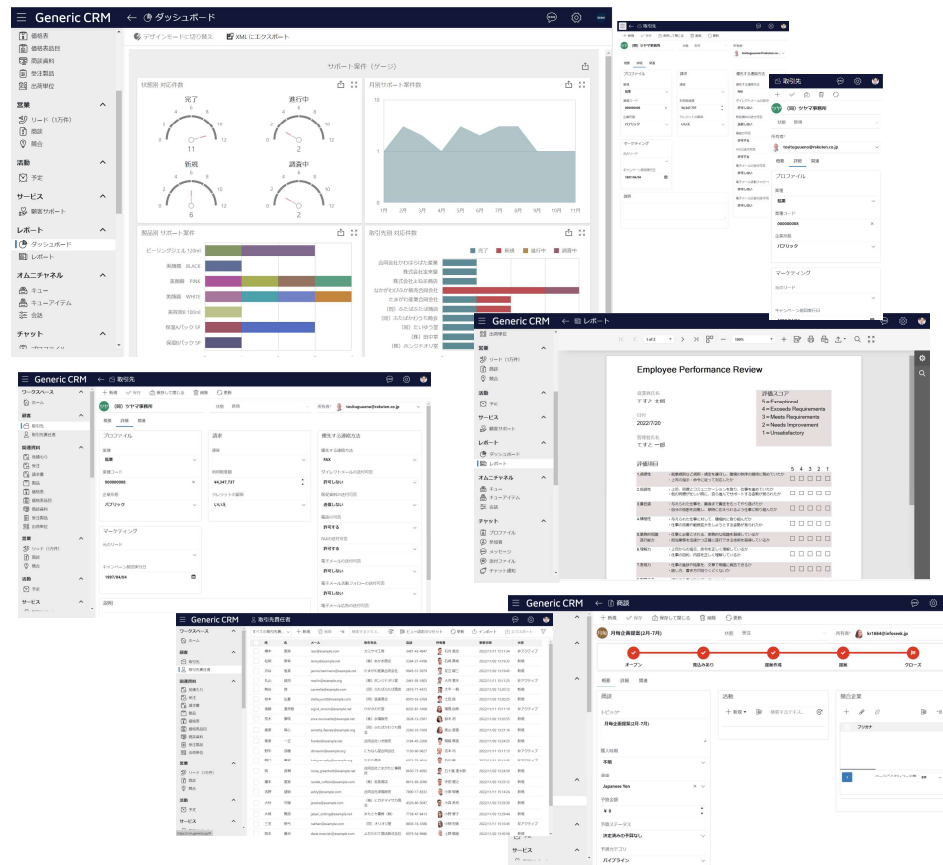
競合他社のサービスの特徴、強みと弱み、市場シェアなどの情報を調査し、自社のサービスをどのように差別化するか考えることが重要です。

## 4. 技術的な要件

SaaSサービスを提供するにあたり、必要な技術的な要件を検討し、適切なインフラやツールを選定することが大切です。

## 5. ビジネスモデル

SaaSサービスを提供するにあたり、収益を生み出すためのビジネスモデルと適切な価格設定を検討し、実行する必要があります。



# SaaSサービス事業開発 × Microsoft Azure

Microsoft AzureはSaaSサービスの開発に必要な設備と環境を提供します。Azureには新規事業を成功に導く、様々な機能やサービスがあります。

## Azure Data Factory

---

大量のデータを統合、加工、保管することができるデータ管理プラットフォームです。分散型データストレージ、データウェアハウスなど、さまざまなデータソースからデータを統合し、ビジネスに有用な情報を提供することができます。

## Azure Storage

---

大量データを保存・管理するためのストレージサービスです。Blob Storageなど様々なタイプのストレージが提供されており、高い可用性、スケーラビリティ、セキュリティなどが備わっています。APIを利用して他のサービスやアプリケーションと簡単に連携することができます。

## SQL Server

---

PaaS向けのリレーショナルデータベース管理システムです。大量のデータを管理、高速に検索することができます。多様なアプリケーションやサービスと連携することができ、強力なデータセキュリティと高可用性が提供されています。

## Azure App Service

---

Webアプリ、モバイルアプリ、APIなどを条件に合わせて、手軽にホスト・デプロイすることができるサービスです。高いスケーラビリティと可用性、厳重なセキュリティ、信頼性などが備わっており、Azureの他のサービスとの統合も簡単に行えます。

## Azure Cognitive Services

---

人工知能を利用して画像認識、言語理解、情報抽出などの機能を提供するAPI集です。開発者はAPIを呼び出すことで、簡単にAI技術を活用することができます。APIは常に進化しており、最新のAI技術を使うことができます。

## Azure Bot Service

---

チャットボットを簡単に開発・デプロイできるサービス。自然言語処理、画像認識、Q&AなどのBotテクノロジーを活用し、顧客やユーザーとのコミュニケーションを効率化できます。他のプラットフォームと連携でき、顧客サポートやマーケティングなどで活用できます。

# アンダーズが選ばれる理由

弊社はPaaS/スクラッチ開発を専門として、戦略立案から設計、開発、運用保守まで、ビジネスとテクノロジーを熟知したシェアードチーム®が開発し、グローバル基準の技術で競争優位をもたらすサービスを適正価格で完遂できる環境でお客様のビジネス価値を最大限に高めるサービスを生み出し、磨き続けます。

## Azureソリューションに関する豊富な経験とビジネスへの深い理解

- 金融・物流・不動産・製造・卸売・小売り・サービスの業種において、クラウドソリューションで培った豊富なノウハウが強みです
- マーケティング・営業・総務・経理・人事・業務・資材・サービス部門におけるプロセスに精通しています
- PaaSは通常SaaSよりも低コストの選択肢です。長期的なコスト削減を実現します

## 既存システム拡張から新規事業参入まで対応できる技術力

- 第三のCRM®ライブラリーの蓄積により、SaaSレベルの品質とスピード開発を可能とします
- 分類・回帰・予測といったAI計算に加えて、音声・画像・動画・文字を分析し、人の意思決定をシステムで代替します
- マイページ、マルチテナント、独自SaaSサービスなど、高い設計技術を要する案件もお任せください

## 運用まで自社完結のワンストップでサービスをご提供

- 品質管理（ISO27001）、セキュリティ管理（ISO9001）認証のプロセスで、安心の運用サービスをご提供します
- 設計をしたシェアードチーム®がワンストップで運用まで手がけますので、システムが絵にかいた餅になりません
- DXやIT戦略について何でも相談できる強力なパートナーシップを築き、長期的に柔軟に対応しています





# SaaSサービス開発事例

アンダーズがAzureを使って開発を手掛けた、大手事業者様の事例を紹介します。PoCで検証された結果を踏まえて、本番環境へ投資することで、各プロジェクトの目標を達成に導きました。

## 貨物追跡システム

---

トラックドライバーのスマホの位置情報を利用して、計画と現在位置を照らし合わせ、追跡を行い、配送状況が見える化します。渋滞、事故、急な予定変更、待機時間延長などがあった場合、予定配達時刻と実際の進捗を管理することで、荷主と配達先へ、延着・遅配をすぐに通知することができます。

[使用したMicrosoftの技術] Azure Data Factory、Azure SQL、AppService

## 求貨求車マッチング

---

貨物や荷物を出したい会社（荷主）と運びたい会社（運送会社）に取引の機会を提供するマッチングアプリで、空車や空コンテナを減らし、効率的な物流を実現することができます。相談／依頼、車番連絡、作業／完了報告など、すべてスマートフォンのアプリ上で完結するので、配送協力会社の確保・依頼も容易になります。

[使用したMicrosoftの技術] Azure Data Factory、Azure SQL、AppService

## CO2排出量算定サービス（SDGS）

---

運送会社が運搬した荷物の種類や量、移動距離、輸送手段などを入力することで、CO2排出量を算出することができます。このサービスを導入することで、運送会社は自社のCO2排出量を把握し、環境負荷を軽減するための取り組みや、顧客に対して環境配慮型のサービス提供を行うことができます。

[使用したMicrosoftの技術] Azure Data Factory、Azure SQL、AppService、Azure Machine Learning



# 新規事業向けSaaSサービス開発 × Microsoft Azure

お問い合わせ先：03-3230-0401

メールアドレス：[contact@andaze.com](mailto:contact@andaze.com)

HP：<https://andaze.com>

andaze